

第215回 共同学習会

さわって、覚える
クリッカー研修会
(Windows XP 版)



日時： 2009年3月10日

場所： 自然科学系図書館棟 地下1階 G15会議室

主催： 大学教育開発・支援センター

第1章. 設問の作り方

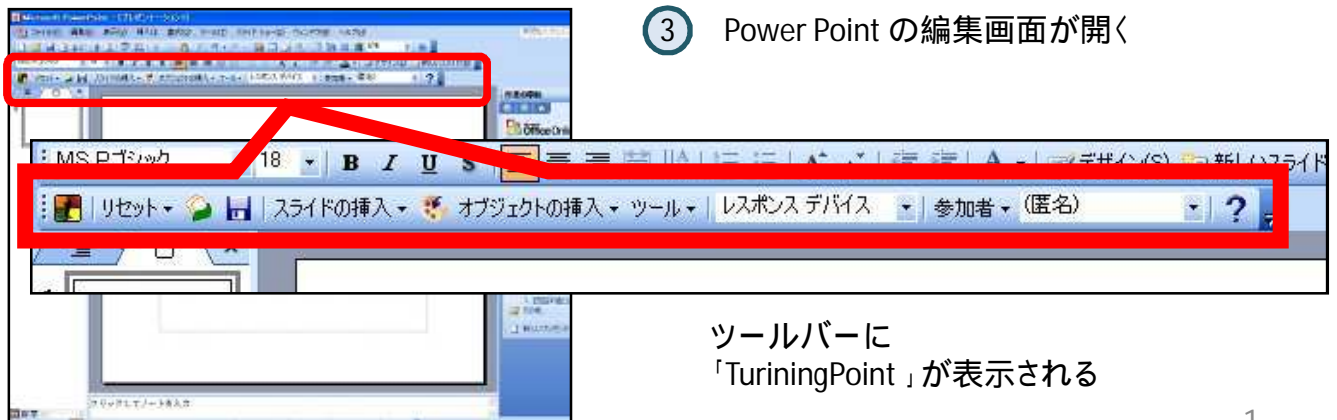
【操作概要】 TurningPoint を立ち上げる → 設問を作る



① TurningPoint のアイコンをダブルクリックする



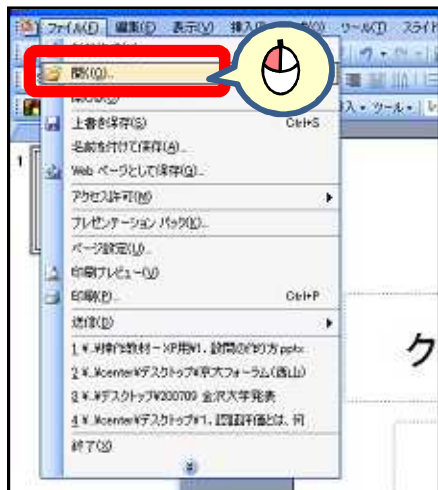
② TurningPoint が起動する



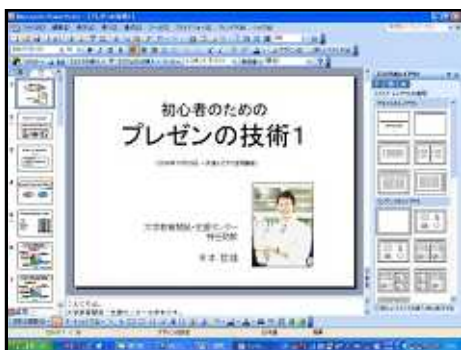
③ Power Point の編集画面が開く

ツールバーに
「TurningPoint」が表示される

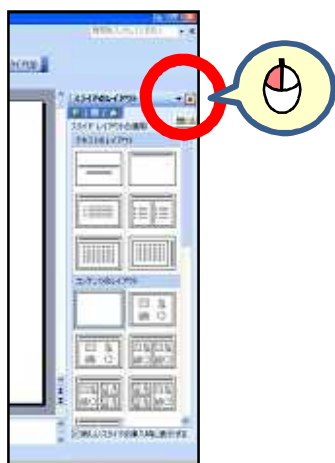
Windows VISTA とは表示が異なる



- ④ 「開く」より、授業で使う
PowerPointファイルを開く



- ⑤ 授業のPowerPointファイルが開かれた



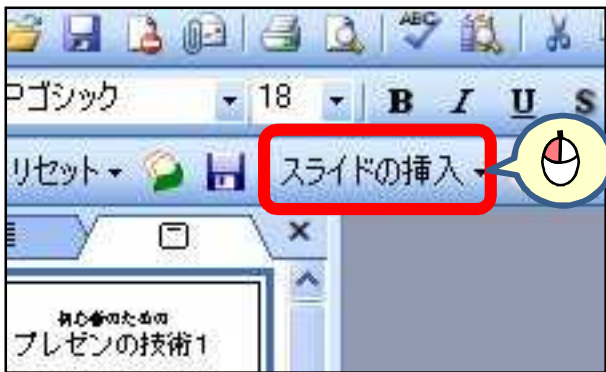
- ⑥ 「スライドのレイアウト」を閉じる
- 画面を広く使うため。
必要なときは自動で表示される。
表示されていない場合もある





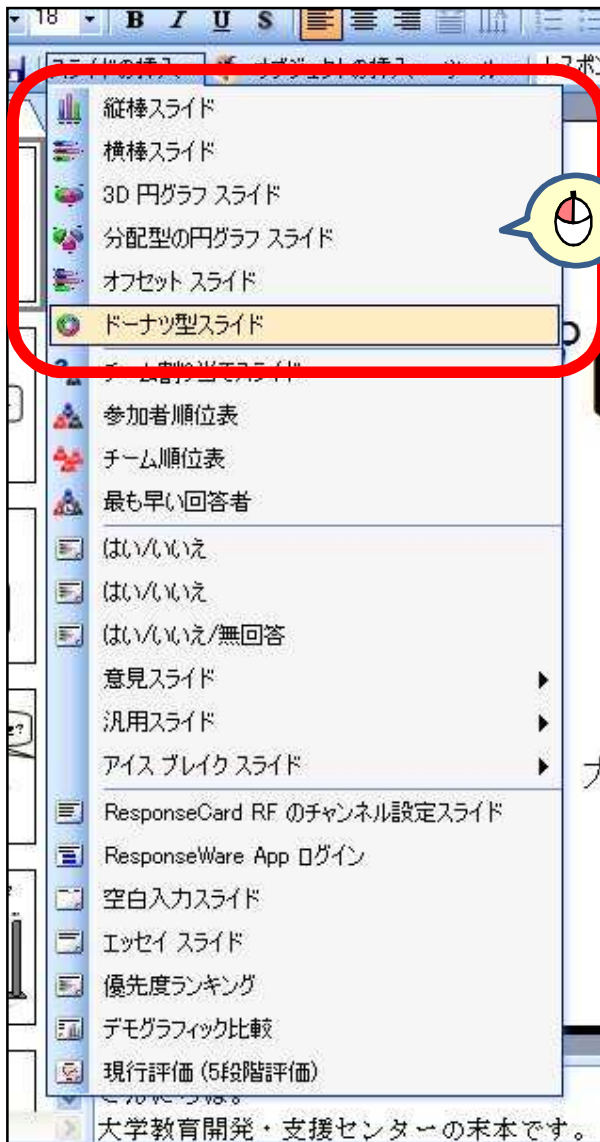
⑦ 問題作成予定のひとつ前のスライドを選択する

→ 左の写真は、場所の目印として作っておいたスライド。後に削除するつもり。



⑧ 「スライドの挿入」をクリックする



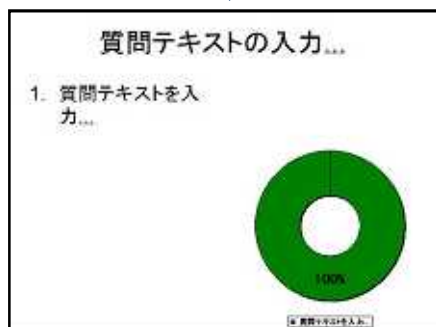


⑨ グラフを選択する

- 縦棒スライド
- 横棒スライド
- 3D円グラフスライド
- 分配型の円グラフスライド
- オフセットスライド
- ドーナツ型スライド

が基本的な質問スライドである。

いろいろな種類が用意されているが、授業で有用と思えるものの多くは、基本スライドで作成可能である。



⑩ 新しい設問スライドが作られた

→ 左の図は「ドーナツ型スライド」。





あなたはプレゼンするのが好き



1. 質問テキストを入力...

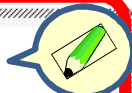
⑪ 設問項目を入力する

→ 必ず記入する。
空白だとエラー扱いとなり、
設問スライドにならない。



あなたはプレゼンするの

1. はい
2. いいえ



⑫ 選択肢を入力する

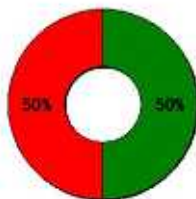
→ 文字を入力した後で、改行(Enter)すると
次の選択肢が入力できるようになる。

「1.」や「2.」は自動で入力される。



あなたはプレゼンするのが好き？

1. はい
2. いいえ



⑬ これで完成

→ とりあえず、自動的に100%を選択肢数で
割った値で色分けされる。
(左の場合は選択肢が2つなので、50%ずつ)

第2章. クリッカーの動作を確認する

〔操作概要〕 レシーバーを挿す → スライドショーを進める



① レシーバーを用意する



② USBにレシーバーを挿入する



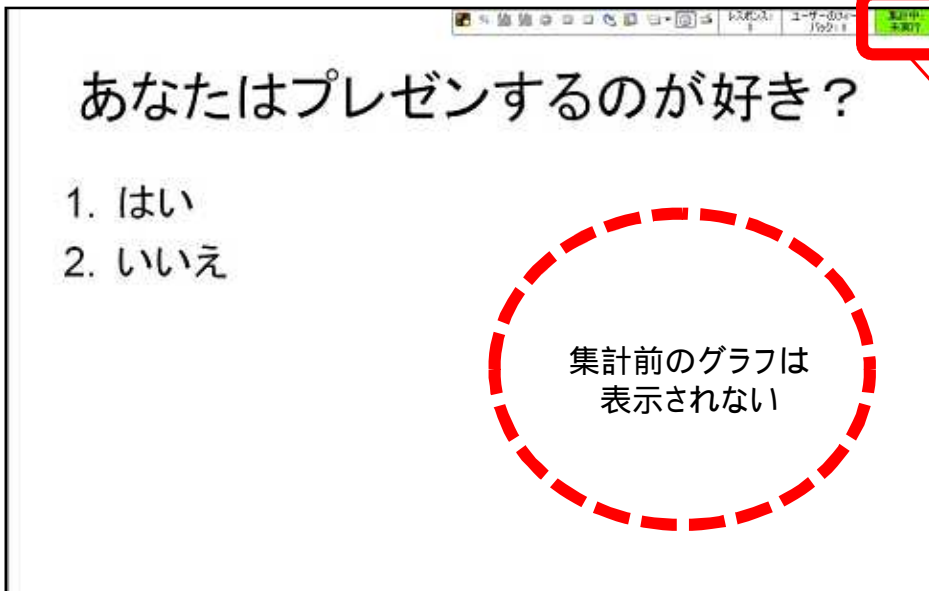
③ 設問スライドを表示する





④ 「現在のスライドからスライドショー」をクリックする

→ キーボードのF5を押して最初からスライドショーを開始しても構わない



⑤ スライドショーが始まる

緑色になったら、集計可能
↓
「クリッカーを押して下さい」



⑦ クリッカーで選択肢の番号を押す

→ 押し間違いをしても、後に押した方が回答となる

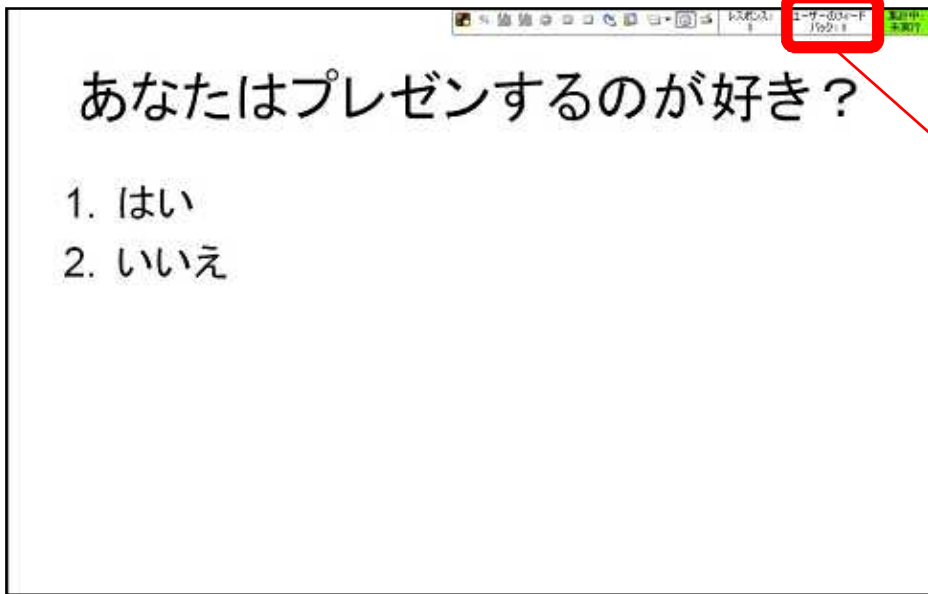


(緑) 受信された



(オレンジ) 受信されなかった





⑧ 集計が開始される

回答者数がカウントされる
(参加者の総数としても
利用可能できる)

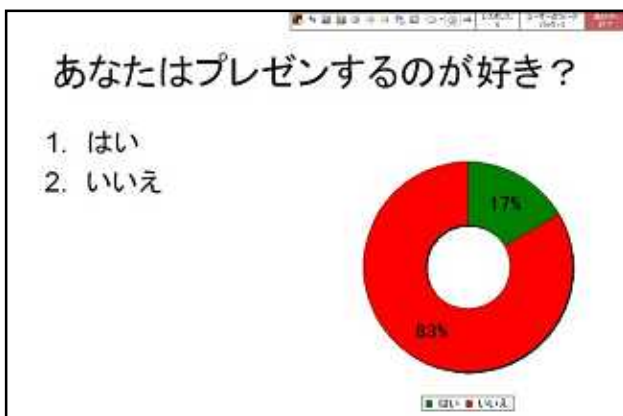


or



⑨ 回答数を見ながら、適度な頃合いで
スライドショーをひとつ進める

- ・マウスの左クリック
 - ・キーボードの右
 - ・キーボードの下
- など



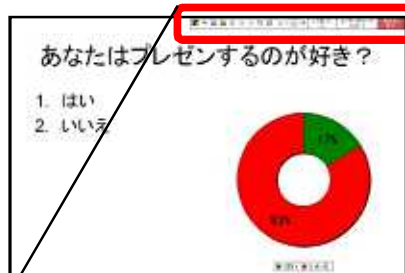
⑩ 結果が表示された

→ 集計が終わると、
右上の緑が“赤”に変わる。

第3章. 結果のスライドを操作する

【操作概要】 数値の表記形式を変える & 集計をリセットする

(1) スライドショーのツールバーで操作する



① スライドショーで結果のスライドを表示する



「%表示」と「絶対値」の切り替え (F2)

回答数

現在の集計をやり直す (F4)

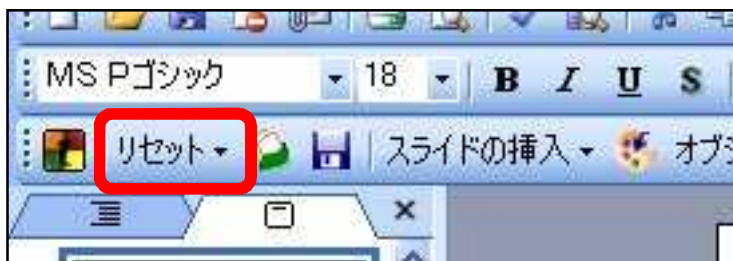
上のツールバーにアイコンを乗せると、ポップアップでコメントが表示されるので、必ずしも覚える必要はない。

(1) PowerPointのツールバーから集計をリセットする

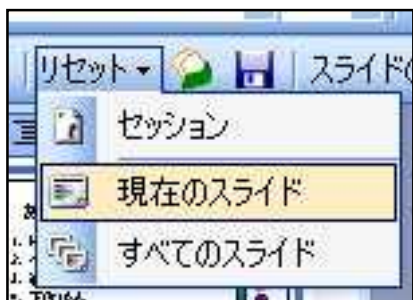


① リセットしたい設問スライドを表示する

→ 集計後、データが確定した
グラフが表示されている



② 「リセット」をクリックする



③ 「現在のスライド」をクリックする

→ 現在表示中の設問が再集計できる。

③' 「すべてのスライド」をクリックする

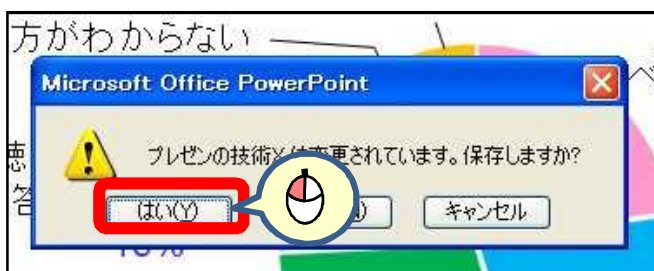
→ ファイル内の設問が全て再集計できる。
授業前の確認の後に使うと便利。

第4章. データを保存する

【操作概要】 閉じる操作 → データファイルの保存



① 集計後、PowerPointを閉じる

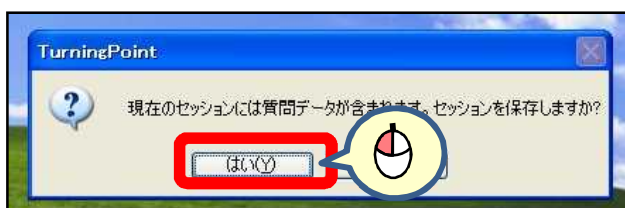


② PowerPointのファイルを保存するかを聞かれる。

→ 保存するとグラフも保存される
次回、グラフの閲覧だけなら、
TurningPointを立ち上げる必要はない



③ 場所を指定し、名を付けて保存する



④ セッションデータを保存するかを聞かれる。

→ 質問データの入っているファイル
試してなければ、保存しておくとい



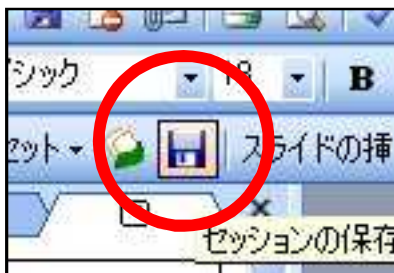


⑤ 「名を付けて保存する」

→ デフォルトは、
My Documents > TurningPoint >
Sessions のフォルダとなっている。

TurningPointが再スタートや
レポート作成時にまずこのフォルダを
検索する。

セッションデータのファイルの
拡張子は.tpzである。



セッションデータの保存は編集画面からもできる。

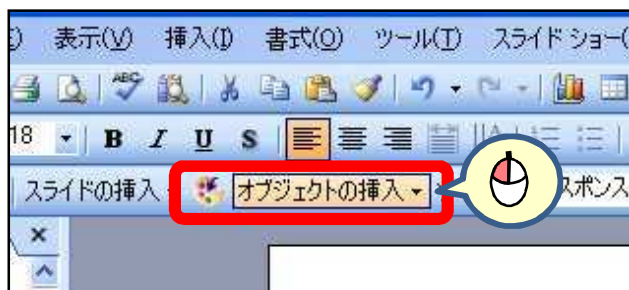
→ この操作だとPowerPointを閉じる必要がない

第5章. 参加者数を大きく表示する

【操作概要】 レスポンスカウンターを追加する



- ① レスポンスカウンターを設置するスライドを表示する




- ② 「オブジェクトの挿入」をクリック





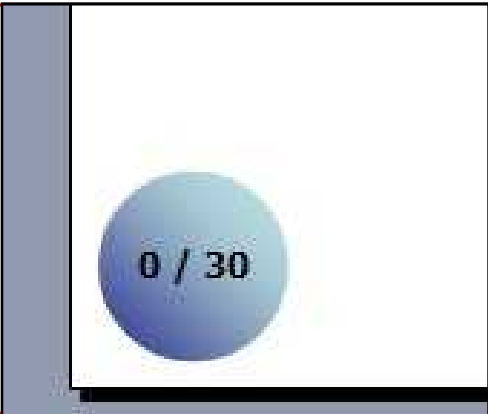
③ 「レスポンスカウンタ」より6種類のカウンターが選ぶ



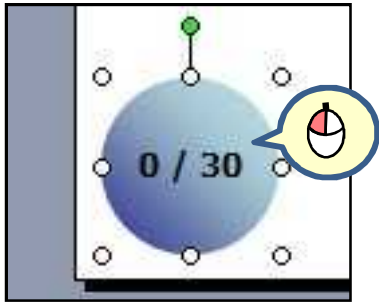
2. ベスト10
3. 違和感なし
4. 下位10人
5. 下位5人

項目	割合
ベスト10	3%
違和感なし	11%
下位10人	16%
下位5人	

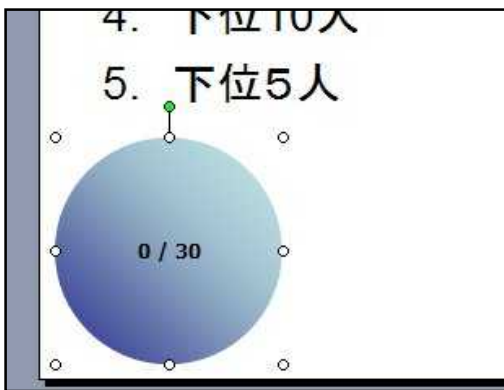
④ カウンタが追加された
→ 写真は「バブル..」



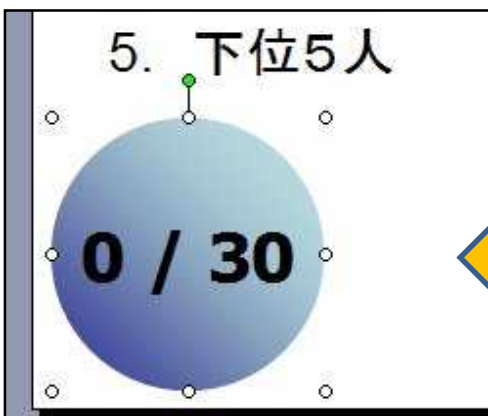
初期状態では小さくて見にくいので、
通常PowerPointで図形の大きさを変えているように
カウンタの大きさを変えることができる。



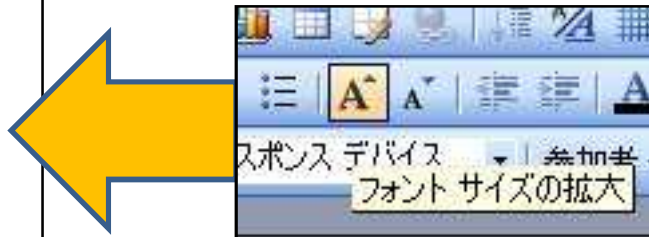
⑤ レスポンスカウンタを選択する



⑥ レスポンスカウンタを拡大する



⑦ 文字を大きくする



→ 文字色や背景色も変えると見やすくなる